

私たちのまちづくりⅢ

2024年～2027年

港、ふれあいのまち城乾5ヵ年計画

防災意識を高めて減災を図る

まちづくり計画について…

なぜ、防災力強化向上か？

【城乾地区の立地状況】

認識してますか？城乾地区が、湿地や堀を埋め立てた地域が多く（大地震による液状化）、特に沿岸部は標高が低く（津波、高潮等の浸水災害）、狭い道を挟み古い建物が密集して建っている（建物の倒壊、火災）地域が多いなど、思いのほか災害リスクの高い地域ということをお知らせします。

「まちづくり計画Ⅱ」ではあいさつ運動を「まちづくりⅠ」に続いて行い、10年が経過しました。皆様のおかげで子どもからお年寄りまであいさつが当たり前のようになっていると思います。アンケートで80%を超える人々が継続して城乾地区に住み続けたいとあります。続けて住み続けるためには「安心・安全なまち」が必要です。

昨今の気象状況や南海トラフにおける地震などのニュースを見ると、線状降水帯の発生や台風の災害などで「何十年住んでいるけどこんなことは初めて」というのを毎年のように聞きます。つまり絶対安全な地域はないということになります。私どもが住む丸亀市、城乾地区では平成16年に高潮被害が一部地区でありましたが大きな災害は経験しておりません。

これからの4年間「まちづくりⅢ」では防災力を高めることが重要と考え、目標にしたいと思います。私たち住民にできる安心安全なまちづくりでは、ソフト面の強化向上による減災の実現です。

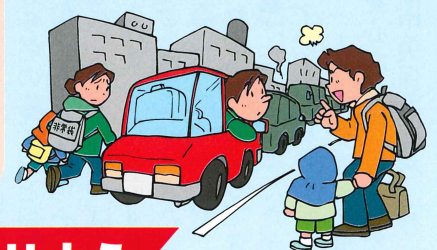
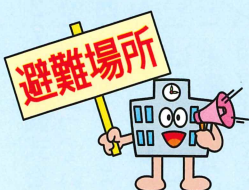
城乾地区の地域性・特徴として、海岸や港に近く、標高1m未満から2mくらいの地区に大半の人が住んでいます。大雨による浸水や地震に弱い地区と考えられます。住民一体となって「防災力の強化・向上」を進め、安心安全なまちづくりに取り組んでいきましょう。



大災害が発生した際に住民は何をすべきか。とっさの時にはだれもがどう動けばよいか、判断が出来かねます。そのとき役立つのは準備と訓練です。災害に対する備えをしいおくと、必ず役立ちます。

城乾地区の多くの方が自分の住む町で災害は発生しないと思っている方が70%を超えています。台風が来ても大したことがない。豪雨もない。地震もない。今まではそうでした。しかし、これからはいつ発生してもおかしくない。近年大災害にあった人々は、「何十年も住んでいるけどこんなのは初めて！」「想定外の災害」と、口をそろえたように話しています。

城乾地区は標高が低く、海に面し、家屋が密集しています。これからの5年先、10年先を考え、住民全員が災害に対する意識を高め、備えを行い、自分たち家族の安全を自分たちの手で確保しましょう。



城乾地区防災計画を地域に根付かせ、定着させよう